

人権学習展開例

主 題 名 高齢者の人権を尊重する共生社会の実現をめざして

教 材 名 共生社会の実現をめざして

人権学習の視点 普遍的な視点「高齢者の人権問題」

主題・教材について 介護現場でのエピソード(高齢者への接し方)をきっかけに、高齢者の尊厳について考えさせる。
また、「高齢者のための国連原則」を通して高齢者の人権とは何かを理解し、共生社会の実現に向けて、どのようにすることが大切かを理解させたい。

ね ら い 高齢者についての正しい理解や認識を培うとともに、高齢者の尊厳について考え、高齢者が生き生きと暮らせる社会の実現に向けて取り組もうとする態度を養う。

本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具	
導入	高齢社会になっていることを理解しよう。					生徒資料 「人口ピラミッド」
	○本時における学習のねらいを理解させる。	一斉 一斉	○グラフを見せることにより、高齢者が増えていくことを理解する。	○日本が世界の中で最長寿命国であることを理解させる。 ※平均寿命…現在の死亡率で推移した場合に0歳児が何歳まで生きるかの平均値		
展 開	高齢者の人権を国連原則を通して学ぼう。					生徒資料 「ある老人介護施設で」 ワークシート 項目1 ワークシート 項目2 生徒資料 「森の聞き書き甲子園」聞き書き作品集
	○「ある老人介護施設で」を読んで、高齢者に対する自分の見方について考えさせる。	個別	○「ある老人介護施設で」を読み自分の考えをワークシートに書く。 ○Aさんは老人をどんなふうに見て介護していたのかを考える。	○個別にワークシートに書かせる。 <ポイント> ・高齢者に対して社会的弱者として哀れみや同情で対応していないか、自分の気持ちの中にもAさんと似通ったところがないか考えさせる。		
	○高齢者の人権はどのようなものがあるかを「高齢者のための国連原則」を活用して理解させる。	個別	○5つの項目が掲げられていることを知り、それぞれの内容にはどのような例が当てはまるのかを考える。 ○Aさんにはどの視点が欠けていたかを考える。	○「自立・参加・ケア・自己実現・尊厳」のそれぞれについて、具体的にどのようなことかを考えさせる。		
	○写真や生徒作文から高齢者の尊厳について考えさせる。 ○高齢者対策基本法の理念から、高齢者の人権がどのように尊重されているかを理解させる。	一斉	○写真や生徒作文から高齢者は「ニッポンの宝」であるということを理解する。 ○高齢社会対策基本法の基本理念、条文のどこに「自立・参加・ケア・自己実現・尊厳」の考えが入っているかを考えさせる。	※<発展的な学習>として、「栃木県協同組合足利給食センターの事例」を活用することにより、高齢者が働きやすいように配慮されているところに下線を引き、共生社会を実現していくために必要なことを理解させる。		
まとめ	共生社会の一員としてできることは何か。					ワークシート 項目3
○高齢者の人権とは何かを理解し、共生社会の実現に向けてどのようにすることが大切かを理解させる。	個別	○本時で学習したことや、高齢者の社会参加、自己実現の例を参考にしながら、高齢者の尊厳について考え、自分の考えを書く。	○国連5原則や高齢社会対策基本法により高齢者の人権が保障されていることを確認する。			

評 価

高齢者についての正しい理解や認識を培うとともに、高齢者の尊厳について考え、高齢者が生き生きと暮らせる社会の実現に向けて取り組もうとする態度を養うことができたか。